

平成 29 年度第 1 回加古川市公設地方卸売市場開設運営協議会 会議要旨

【開催日時】平成 29 年 10 月 2 日(木) 午後 1 時 30 分から午後 2 時 43 分まで

【開催場所】加古川市公設地方卸売市場 管理棟 2 階会議室

【出席者】

委員：別紙のとおり

事務局：別紙のとおり

【会議内容】発言要旨等は以下のとおり。

1.協議等(事務局・場長)	〈午後 1 時 30 分開会〉 出席委員 12 名の紹介。 事務局職員の紹介。
(1)役員選出	会長・副会長の選任及び承認。 会長・副会長からの挨拶。 以後の議事進行については協議会規則第 5 条第 2 項の規定により 会長に議長としての会議進行をお願いする。
(2)市場まつりの報告 (事務局・場長)	平成 29 年度市場まつりについて報告。 (別紙、「市場まつりの概要」、「市場まつりのチラシ」を中心に行 う。)
(議長)	動員数に目標数があるのか。昨年度と較べて問題等はあるの か。
(事務局・場長)	平成 28 年度には約 2 万人の来場があった。市内の小中学校も含め 高砂市、播磨町、稲美町の小中学校にも同様に案内を行った。特に若 い親子連れが来場していたと聞いている。今年度以降、開催日を 12 月 第 2 週日曜日とし、広報かこがわへチラシを同封し、全戸配布を行う予 定。昨年度と同程度の入場を目指す。問題点は、隣接県道の交通渋 滞があり、ピークとなる時間帯も判明しているので、場内及び近隣駐車 場も 90～95 パーセントの回転率で利用できると、警備会社から聞い ている。
(議長)	次に報告事項(3)市場整備方針について事務局から説明願いたい。
(3)市場整備方針の報告(事務局・産業振興課担当副課長)	今後の市場の方向性を具体的に検討するため、「加古川市公設地方 卸売市場整備方針調査業務報告書」を平成 27 年度にまとめた。平成 28 年度は、その報告書をもとに市場の再整備に関する骨子を策定し た。整備方針検討委員会を平成 29 年 4 月 21 日に第 1 回目を開催し、 8 月 28 日までに第 5 回まで協議を重ね事務を進めている。「加古川市公 設地方卸売市場整備方針(案)」の概要をご覧いただき、それをもとに説

	<p>明する。 <以下概要をもとに説明する。></p>
(会長)	<p>ただいまの報告について質問はあるか。ご意見等あればいただきたい。</p>
(4) 質疑 応 答 (委員)	<p>市場前の県道に信号は設置されるのか。警察や公安委員会と話はつめてくれているのか。設置されなければ不便である。</p>
(会長)	<p>市は意見を出すことができるのか。</p>
(事務局・場 長)	<p>信号の設置については、いろいろと基準があり結果どうなるかは現時点ではお答えできないが、県には相談していく予定でありこの沿道には多くの企業があるので、信号設置の要望があると聞いている。今後も引き続き要望していく。</p>
(委員)	<p>図面は持っているのか。</p>
(事務局・場 長)	<p>土地の買収を進めている段階なので何も決まってないと思う。</p>
(副会長)	<p>信号は松風こみちに設置できるようにしたらいいのでは。道さえ広ければ正面から出る必要もないし、近所に迷惑がかからないようにすればいい。</p>
(議長)	<p>それ以外の意見はあるか。</p>
(副会長)	<p>PRのことだが、トライやるウィークで受け入れた中学生を最終日に市場見学してもらおうが、意外と市場が知られていない。生徒向けのPRも必要な時期ではないか。</p>
(議長)	<p>生徒達も、教科書で学んでも現場を見たことがない。取引中でない時間帯も何かの施設があれば、関心を持ってもらえると思う。近隣の小中学校への働きかけはどうしているのか。</p>
(事務局・場 長)	<p>親子見学会を平成 29 年 7 月に行い、昨年度の実績から増えて 50 名の参加があり、今年度より市場をよく知ってもらうため見学会と併せて流通の仕組みを学習する内容に変更した。今後、市場を知ってもらう見学会の場が必要であるという認識はしている。平成 30 年 2 月に「かこがわ検定」の会員から市場見学をしたい要望がきている。100 名受け入れての開催を行う回答を行った。</p>
(議長)	<p>観光は別のプラス効果があり午後の見学を希望している人には、稼働しているところをビデオに撮って観てもらうのも良いのではないかと。市場から先駆けてどんどんやっていくのも良い。ほかに消費者団体の方からのご意見はあるか。</p>

(委員)	市場まつりの時は来ているが、土曜日に来るのは手間である。お祭りのときに安い値段で手に入る物があるのでここに来るが、普段は行きづらい。
(議長)	兵庫県は食が豊かであり、おいしく新鮮なものが多くて、個人的に驚いた。問題はプラスアルファがないと市場に向かうには難しい点がある。整備を行う上で可能であれば、何かをプラスする時に人を呼ぶきっかけになるのかと思う。
(委員)	4年ほど前、活性化委員会で兵庫大学と協働して市場にも若い人を呼ぼうと商品開発の取組みをしようとしたが、実現しなかった。これを機会に何か別の取組みができるものはないかお願いしたい。
(議長)	いろんな方面から協働の話は出ている。学生は実習やアルバイトで多忙の為、何人ぐらいその事業に入れるのか不明だが、この提案はいったん持ち帰りたい。市場の整備方針の報告については、以上としたい。他にご意見等なければ、質疑応答についても終了とする。
(5)閉会 (事務局・場 長)	以上で本日の協議はすべて終了とし、委員の皆様からいただいた貴重なご意見については、今後の市場運営に活かしていく所存であると挨拶を行い閉会。 〈午後 2 時 43 分閉会〉